

御在所岳 鈴鹿山系東多古知谷（百間滝）山行報告

〔令和3年（2021年）7月23日〕

参加者：中山 正浩・土橋 誠・岡村 繁雄

当初の予定では、宮崎県加納谷の沢登を計画していたが、天候不順のため急きょ、鈴鹿山系に転身した。

22日、北九州を出発、御在所岳山麓のキャンプ場のバンガローに宿泊

23日、御在所岳 東多古知谷〔百間滝〕より御在所岳へ

御在所岳、表道登山口駐車場に駐車、すぐそばの登山口より砂防堤を降り入渓〔7:25〕百間滝に到着〔8:10〕



表道登山口駐車場出発



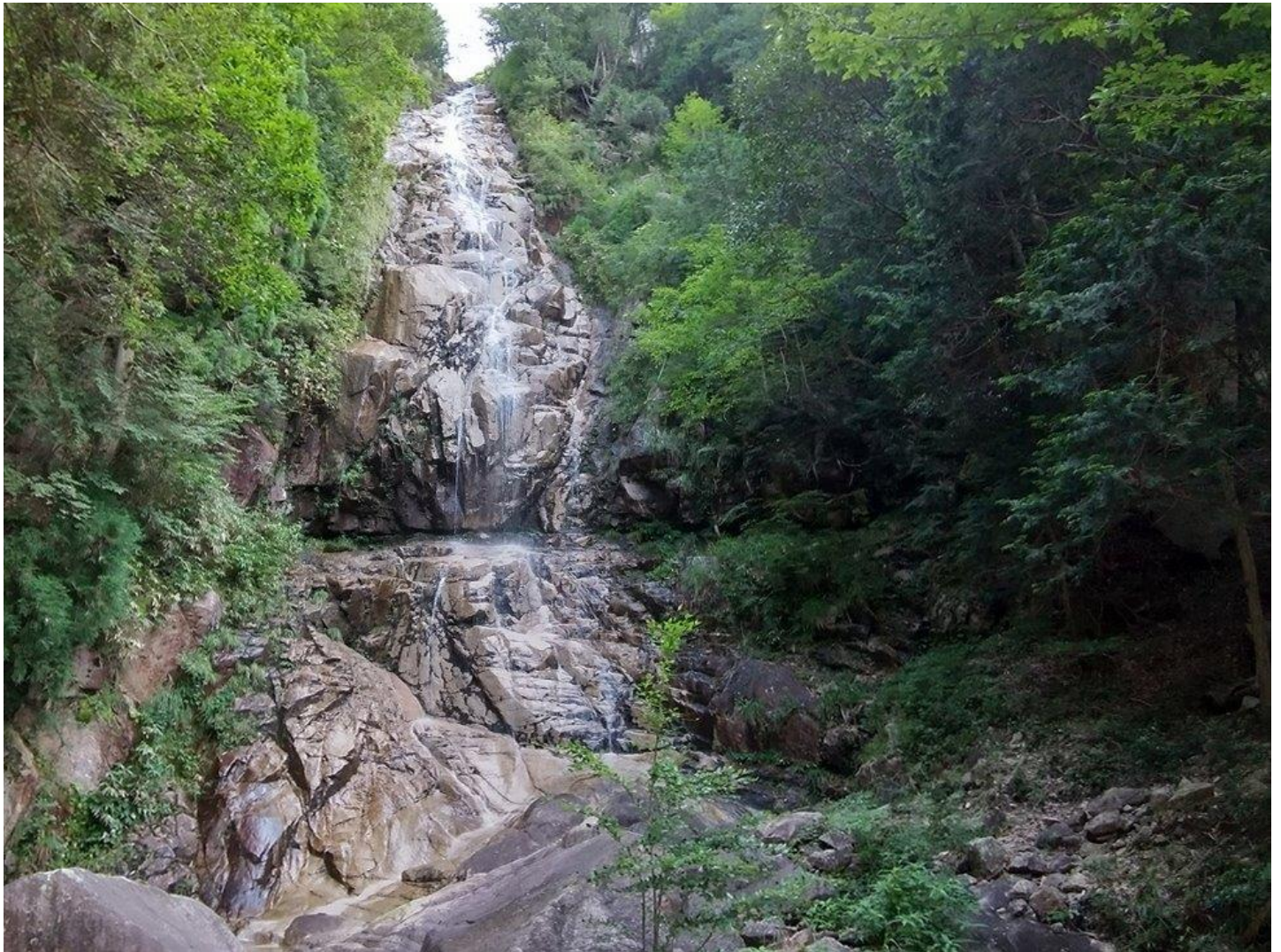
表道登山口



砂防堤を降り入渓



沢の入口



百間滝 全景

私は、昨日夜やや飲み過ぎで不調のため、滝右下の1ピッチ目から土橋さんがトップでスタート[8:45]
滝、右側のクラック沿いにハーケンが何本かあるが、事前情報でヌメリがあるとのこと持参のワイヤーブラシでスタンスのコケを清掃しながら、フレンズで数か所プロテクションを取っての登攀となる。



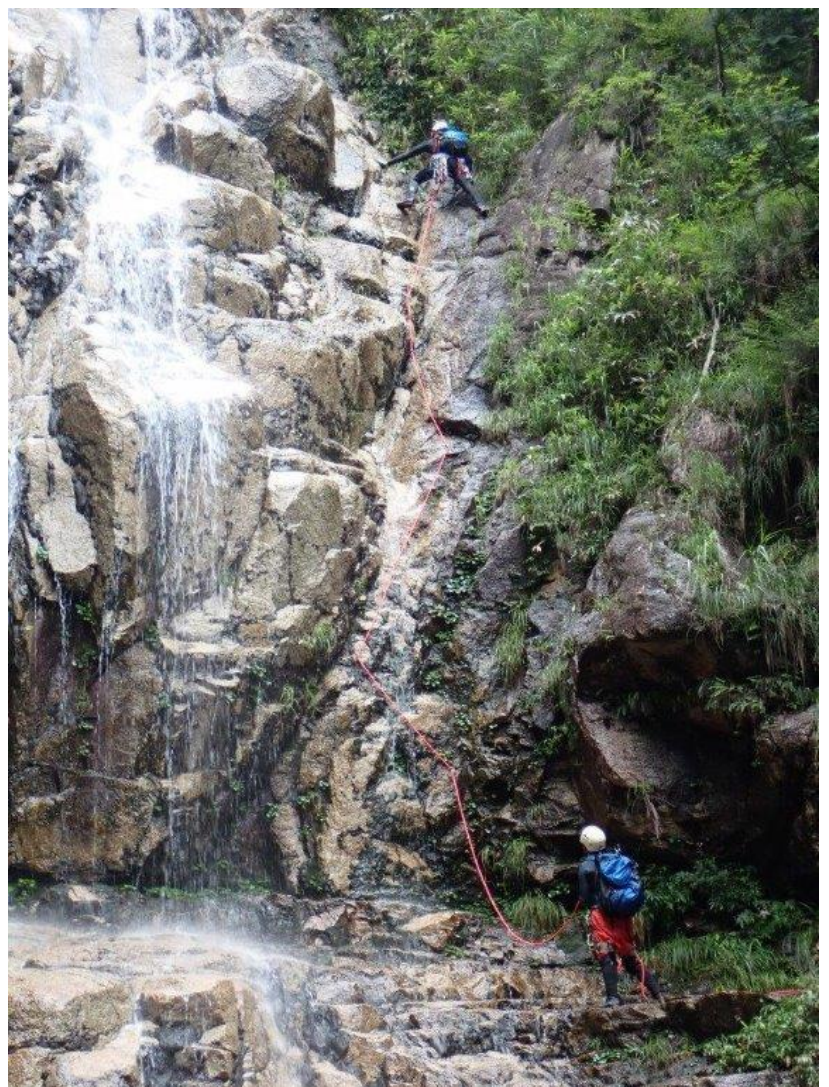
右側から回り込んで1ピッチ目のスタート地点へ移動



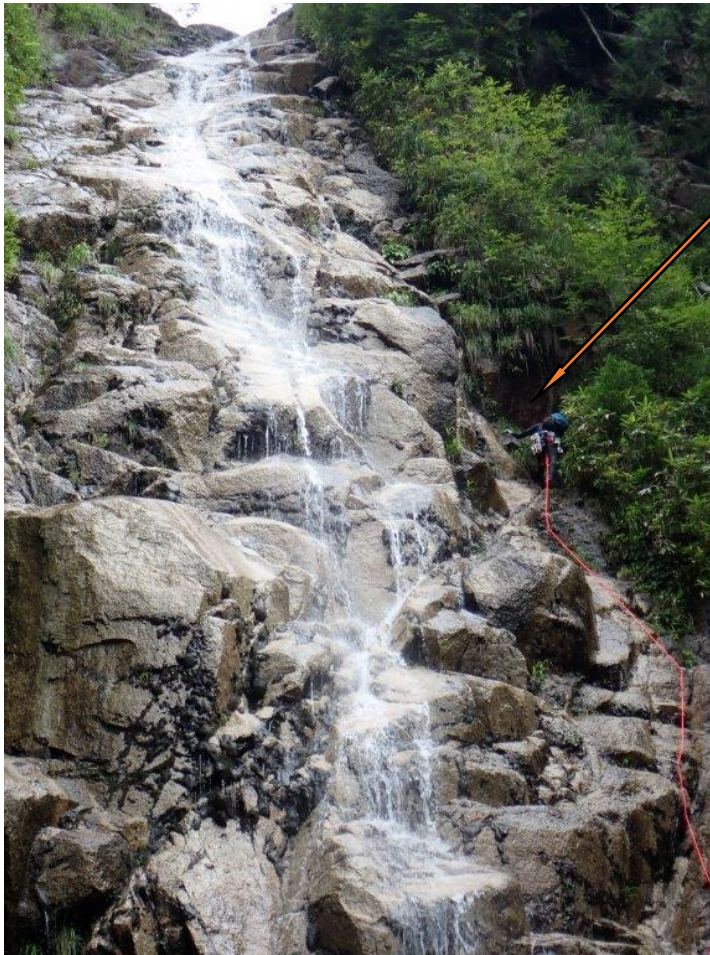
1ピッチ目の出だし、結構難しい



左のクラックにフレンズで
プロテクションを取りながらの登攀







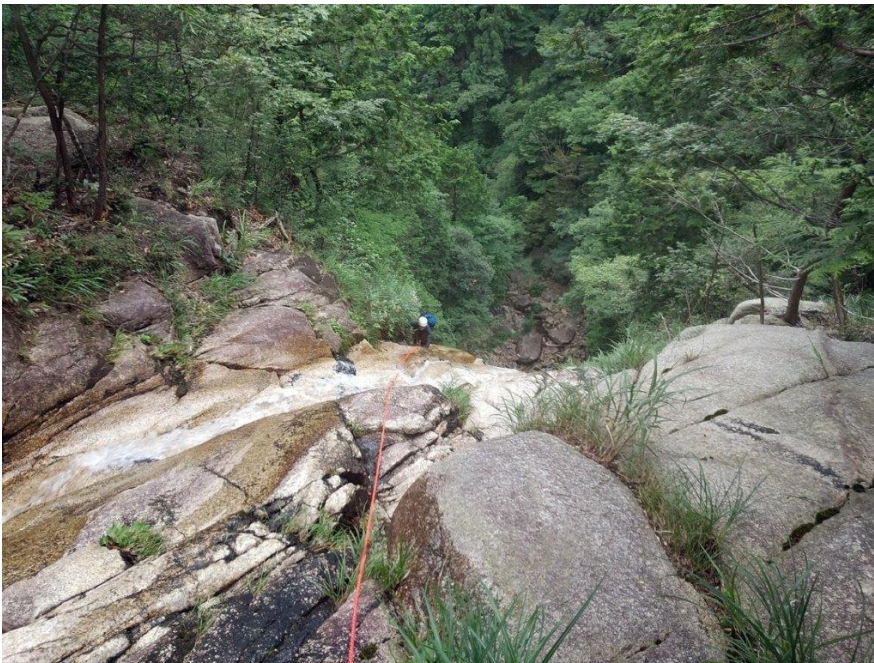
1 ピッチ目終了点 支点



1 ピッチ目終了点の支点

2 ピッチ目、土橋さんスタート
[9:50]





2ピッチ目終了点より撮影

2ピッチ目終了点で確保する中山さん



2ピッチ目は、セカンドで、中山さんがユマールで確保しながらスタート [9:15]

3名が百間滝を抜けたのが [11:20]

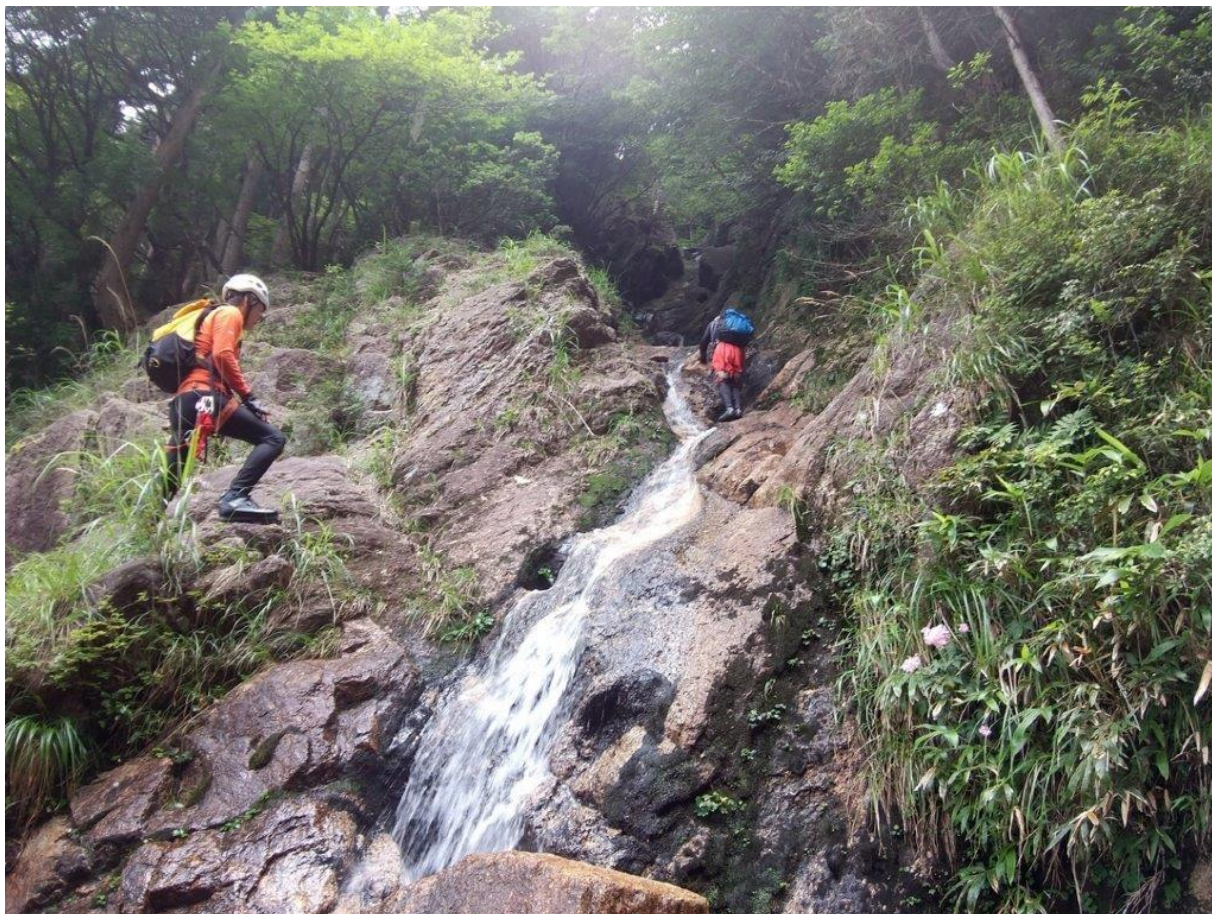


百間滝を抜けた上部にて



百間滝を抜けてから急傾斜の滝が続く





登山道との合流点 [12:45]

御在所岳山頂 [13:15]





山頂より山上公園駅を望む



武平峠へ下山 前方 鎌ヶ岳



下山途中、道の真ん中にシマヘビ



武平峠のトンネル出口に出る



表道登山口駐車場〔14:30〕到着

山頂を散策後、武平峠トンネル出口経由で表道登山口駐車場へ約7時間の行程であった。

百間滝は、ヌメリがなければ1ピッチ目は、5級ーか4級＋、2ピッチ目は、4級といった感じだが、なにせ沢は、独特のヌメリ状況があり、靴がフェルトかラバーソールかによっても違いがありグレードはハッキリしない。

沢全体は急登で楽しく登れたが、核心部の百間滝は、ヌメリの状況により快適さが左右される登攀となる感じだ。

Reported by S.Okamura Photo presented by M.Dobashi & S.Okamura